

2017年度事業計画書

自 2017年4月 1日

至 2018年3月31日

公益財団法人山田科学振興財団



2017 年度事業計画書

当財団は、自然科学の基礎研究を助成振興し、もって我が国の科学研究の向上発展と人類の福祉に寄与することを目的としている。この目的を達成するため、自然科学における多岐の分野に渡って、基礎的研究に対する援助、研究者の海外派遣に対する援助、学術集会の開催及び援助を行う。また本年度は当財団設立 40 周年にあたることから記念事業を行う。

当財団の事業活動の財源は、設立者である故山田輝郎の私財を原資とした寄附金であり、その内訳は 2016 年 3 月 31 日現在、基本財産 31 億 1430 万円、特定資産 1 億 9087 万円、その他の投資有価証券 6018 万円である。国内の金融環境は日銀のマイナス金利政策により財産の運用にいつそう厳しさを増しているが、当財団においては外貨建債券の運用等により運用収益は改善されつつある。本年度も引き続き従来の事業規模を維持することに重点を置くが、設立 40 周年記念事業はこれまで蓄積した特定資産の一部を用いて行う。

東日本大震災被災地支援のための義捐金の受け入れと、「一般財団法人 教育支援グローバル基金」へ全額を寄附する事業は義捐金の受け入れが見込めないことから廃止する。

I 自然科学の基礎的、学際的研究に対する援助

1. 研究援助

物理、化学、生物・医学の各分野における基礎研究に対して研究費の援助を行う。

1) 募集

援助を希望する研究者が選考の対象となるためには、本財団が指定する学会、もしくは本財団関係者の推薦を得ることを必要とする（ただし選考委員は除く）。推薦要項は本財団ホームページに掲載するとともに、広く大学や研究所、さらに基礎分野に関連した多数の学会に案内する。

2) 選考

選考は書面による一次審査の後、各領域の専門家から成る選考委員会により援助対象者の採択を審議し、理事会にて決定する。選考は、以下の点を考慮する。

- ・ 萌芽的・独創的研究
- ・ 新規研究グループで実施される研究
- ・ 学際性、国際性の観点からみて優れた研究
- ・ 国際協力研究

評価が定着して研究資金が得やすいものより、高い目標を掲げた萌芽的・挑戦的基礎研究を重視する。

3) 成果報告と研究交歓会

採択された研究者は研究期間終了後、本財団に研究成果報告書を提出すると共に、

本財団が開催する研究交歓会において成果を互いに発表する。

4) 予算と実施計画

- ・ 研究援助 3,000 万円
- ・ 研究援助採択数 15 件
- ・ 研究交歓会：2015 年度の研究援助受領者による研究成果報告会ならびに本財団関係者による講演会を実施する（会議費として 285 万円）

II 自然科学の研究を行うための招聘・派遣、その他国際学术交流に対する援助

1. 長期間派遣援助

海外における学識交換を通じて学術の国際交流を促し、また協同研究によって相互に研究の学際的あるいは国際的な進展を図るため、長期間(6 ヶ月～1 年間)海外派遣するための渡航費、滞在費等の援助を行う。

1) 募集

募集要項は本財団ホームページに掲載するとともに、広く大学や研究所に案内する。援助を希望する研究者は本財団に直接応募できる。

2) 選考

選考は、まず研究主題、派遣の目的や必要性、派遣先での行動計画などについて書面審査を行い、その結果を参考にして選考委員会によって派遣援助対象者を採択し理事会にて決定する。

3) 成果報告と長期間派遣者研究交歓会

採択された研究者は派遣を終えて帰国した際、成果報告書を提出すると共に、本財団が主催する長期間派遣者研究交歓会に出席、一堂に会して成果を互いに報告する。

4) 予算と実施計画

- ・ 長期間派遣援助総額 70,000U.S.dollars
- ・ 採択数 7 件
- ・ 長期間派遣者研究交歓会：本年度は実施しない。

III 自然科学に関する学術集会の開催援助

本財団が主催もしくは開催援助する学術集会は、内外の研究者が最先端の研究内容を講演、討議する「山田コンファレンス」、現在活躍しているシニア研究者と次世代での活躍が期待されている若手研究者が対話・交流する「山田シンポジウム」の性格のやや異なる 2 種の国際学術集会と、若手研究者の発案・組織による異分野間での議論を行う「山田研究会」とする。以下に示すように本年度は、第 5 回山田シンポジウムの援助、2019 年度開催予定の国際学術集会の選考、2020 年度開催予定の国際学術集会の公募を行う。

1. 国際学術集会

1) 募集

2020年開催予定の国際学術集会として以下の要件を満たすものを募集する。

- ① 基礎科学の適切なテーマについて国際的視野で最高レベルの研究の現状を総括する
- ② 基礎科学研究者の世代間の対話によって、若い世代の研究の発展の基礎を構築する
- ③ 基礎科学の異分野間の交流を図り、cross disciplinary な討論を通じて、新しい発展を模索する

これらの要件の内、①を主とし、②、③を従として満たす集会を山田コンファレンスとする。②を主とし、③を満たすことを強く意識するか、あるいは③を主とした集会を山田シンポジウムと称する。

2) 選考

既に公募している2019年度開催予定の国際学術集会について選考委員会にて採択を審査し理事会にて決定する。

3) 開催と成果報告

既に採択が決定している第5回山田シンポジウム及び金森順次郎記念国際シンポジウムの開催援助を行うと共に、終了後に報告書の提出を求める。

4) 予算と実施計画

本年度開催の第5回山田シンポジウムの援助額は800万円とする。2020年度開催予定の国際学術集会の予算は800万円以下とし、採択件数は原則として「山田コンファレンス」、「山田シンポジウム」のいずれかを1件とする。

2. 山田研究会

1) 推薦

山田研究会は若い世代の基礎科学研究者の自由な発想の交換と相互啓発を促進する小規模な集会とし、基礎科学の異分野間の交流を図り、cross disciplinary な討論を通じて、新しい発展を模索することも強く意識するものである。山田研究会の開催責任者は選考委員以外の本財団関係者の推薦を要する。

2) 選考

選考委員会にて採択の可否を審査し、採択の場合は理事会にて決定する。

① 開催と成果報告

開催は財団主宰とし、開催責任者に報告書の提出を求める。

② 実施計画と予算

山田研究会の予算は100万円とする。

IV 東日本大震災支援

2015年度、2016年度と2年間に亘り義捐金がなかったことから、この事業を廃止する。

V 40周年記念事業

1. 40周年記念講演会

1) 目的

これまでの財団活動を振り返り、今後の基礎研究そのもののあり方と支援の方策について考える「40周年記念講演会」を学術集会開催援助の一環として行う。

2) 実施計画と予算

講演会の規模は財団関係者と外部の研究者で150名程度の参加者とし、予算は750万円とする。

2. 金森順次郎記念国際シンポジウム

1) 目的

故金森順次郎理事長は、今日の物性理論分野において大きな影響を与えた研究スタイル（実証的研究、計算物理学の重視）を確立し、また本財団理事長として基礎科学の進展に大きな貢献をなしたが、これらの業績を記念した「金森順次郎記念国際シンポジウム」の開催支援を学術集会開催援助の一環として行う。

2) 実施計画と予算

集会の規模は120名程度とし、210万円を支援する。

VI 公募・選考スケジュール

1. 2020年度開催予定の国際学術集会の公募

募集期間 : 2017年4月1日～2018年2月23日

2. 2018年度 研究援助の公募

募集期間 : 2017年10月1日～2018年2月23日

3. 2018年度 長期間派遣援助の公募

2018年4月1日～2019年3月31日に海外へ出発するものを対象とする。

募集期間 : 2017年8月1日～2017年10月31日

4. 選考スケジュール

1) 研究援助、山田研究会及び国際学術集会

第1回選考委員会 : 2017年5月28日

第2回選考委員会 : 2017年7月29日

第1回臨時理事会（決定承認） : 2017年7月29日

2) 長期間派遣援助

第3回選考委員会 : 2018年2月中

第2回定時理事会（決定承認） : 2018年2月17日

VI その他

1.財団ニュース

本財団の機関紙である財団ニュースを年 2 回発行し、当財団関係者、研究援助や長期間派遣援助の受賞者、山田シンポジウムや山田研究会の関係者に配布、コミュニケーションの一助とする。

2.事業報告書

平成 28 年度の事業報告書を発行する。

事業計画概要

自然科学の基礎的、学際的研究に対する援助

事業名	実施計画	予算額
研究援助	15 件 採択予定	3000 万円
研究交歓会	5 月 27 日・5 月 28 日実施予定	285 万円（会議費）

自然科学の研究を行うための招聘・派遣、その他国際学术交流に対する援助

事業名	実施計画	予算額
長期間派遣援助	7 件採択予定	70,000U.S. dollars
長期間派遣者研究交歓会	—	—

自然科学に関する学術集会の開催援助

事業名	実施計画	予算額
第 5 回山田シンポジウム開催援助	10 月 2 日～10 月 5 日予定	800 万円
金森順次郎記念国際シンポジウム	9 月 25 日～9 月 27 日予定	210 万円
40 周年記念講演会	10 月 14 日	750 万円
国際学術集会	1 件採択予定	800 万円以内
2020 年度国際学術集会	4 月 1 日より公募予定	800 万円以内
山田研究会	実施予定	100 万円

本事業計画書に変更がある場合、基本的な変更は理事会の決議を要するが、日時の変更など基本的な変更でない場合は理事長に一任する。